



第三者機関の設置が規定されたのであります。

都議会の第三回定例会が開かれ、都議会公明党を代表し質問に立ちました。世界的規模での金融不安が広がるなか、まず都民生活を守るための処方せんとして我が党の主張に添った補正予算の成立に全力をあげる観点から質問。その上で、喫緊の課題の福祉・医療・環境・教育・住宅問題など取り上げ石原知事はじめ都側を質した(別掲を参照)のであります。一方、今議会での焦点の一つであった政務調査費問題

代表質問に立ち、論戦を展開!!

— 補正予算の内訳 —

内 容	予算額
緊急安全・安心対策	117億円
うち	
新型インフルエンザ対策	88億円
小中学校の耐震化対策	29億円
緊急中小企業支援・雇用対策	278億円
うち	
中小企業融資制度の充実	165億円
中小企業設備リース事業	102億円
正社員採用・定着支援事業	11億円
減債基金への積立(※)	540億円
合 計	935億円

※地方財政法上、決算剰余金は、その二分の一以上を基金に積み立てるか、地方債の繰上償還の財源に充てなければならないと規定。

補正予算

都民の安全・安心、中小企業支援で緊急編成

質問 この時期に補正予算の編成を決断した知事の考えを問う。

答弁 中小零細企業の資金繰りは逼迫し、非正規雇用者の雇用環境も厳しさを増している。また、都民の安全、安心を脅かす危機に対して、思い切った対策を講じることが急務。実効性のある緊急対策を打ち出し、早期に実施すべきものを補正予算として編成した。

住宅政策

都住の家賃改定

現入居者に十分な配慮を

質問 公営住宅法施行令の改正について、都営住宅における現入居者の不安解消を急ぐべき。

答弁 家賃が2段階上昇する世帯の経過措置期間の延長を検討している。また、家賃改定の適用時期については、一定期間延ばすことを検討している。

医療対策

がん検診率向上へ、マンモグラフィー車を増強

質問 女性のがん検診の受診率を向上させるために、乳がん検診についてはマンモグラフィー検診車を増やすなど、具体的な対策を実施すべき。

答弁 職場での乳がん検診にも活用できるマンモグラフィー検診車について、今年度中に4台分の整備費補助を行う。また、来年3月の女性の健康週間に合わせて、新たに子宮がん、乳がん検診に関するリーフレットを作成、配布し受診率向上に努める。

質問 在宅緩和ケアの人材育成や療養生活を支援する体制づくりを積極的に推進すべき。

答弁 がん患者の在宅療養を支援する連携体制の整備に向けたモデル事業を、10月から新たに実施していく。

行財政改革

監理団体は半減。さらに3団体減に

質問 都が出資している監理団体(外郭団体)の改革については、手綱を緩めることなくさらに進めるべき。

答弁 団体数は最も多かった72団体から、平成20年4月には36団体と半減し、本年度末には更に3団体の減となる予定。今後とも、存在意義を検証した上で、改革を進めていく。

福祉対策

シルバーパスの「激変緩和措置」継続へ

質問 シルバーパスについて、税制改正の結果、収入が変わらないにも拘わらず負担増になる高齢者に対し、平成21年度も「激変緩和措置」を継続することを強く求める。

答弁 適切に検討していく。

質問 知事の選挙公約でもある中学校3年生までの医療費ゼロを早急に都の制度として実現すべき。

答弁 現行の所得制限を前提に、助成内容の拡大を図る方向で検討しており、10月早々には具体案を取りまとめる

食の安全

国の責任求め、都は監視・検査を強化

質問 汚染米等の転売問題など、食の安全の崩壊を目の当たりにし、首都東京の食の安全を守りぬく知事の決意を問う。

答弁 都はこれまで、国に先駆けて都独自に、調理冷凍食品の原料原産地表示を義務付けた。今後とも、あらゆる機会を通じて、国の責任を果たすよう強く求めるとともに、都の監視指導や検査体制を強化していく。

知 っ 得 コ ー ナ ー

ロボット パロ

癒やしの効果バツグン!!



鈴木都議は、公明党の松あきら参院議員(女性委員長)、高木美智代衆議院議員らと9月10日に、特別養護老人ホーム「花の木ハイム荒川」で癒やしを發揮している、ロボット・パロを視察。アザラシ型ロボット「PARO(パロ)」は体長60センチほど。なでたり声を掛けたりするとまばたきや手足を振るなどの動作を。こうした仕草が、入所している高齢者の方々の心に安らぎを与えているようです。セラピーとして導入しているとか。



設などでのロボットする例が増えて花の木ハイムでたところ、大変なぬいぐるみの中小企業対策の事で、まさに一挙両

も、今年四月から導入し人気に。もう1つの効果部分が区内で製造され分野でも役立つという得といってもいいようです。

北島康介選手

感動をありがとう!!

— 鈴木都議も地元で声援 —



8月14日(木)午前—北島選手の実家の2軒隣の須長米店の2階は、押しかけたテレビや新聞社の取材陣でゴッタ返していました。私も応援に駆けつけ、「北島ガンバレ! 康介ガンバレ!!」のかけ声を。固唾をのんで見守る中、オリンピック記録でゴールすると万歳コールが…。

私も「二冠達成に感動以上の感動を北島選手にもらった気が…」と胸が一杯に。

この写真の場面が放映されたのか、全国から「かんたろうさんTV見たよ!」の激励のおまけが…。

教育対策

「学校裏サイト」の監視で具体策を検討

質問 近年、常識では考えられない要求を行う保護者が増加。学校における問題解決の研修を積み重ねている専門家を活用し、対処できる仕組みを構築すべき。

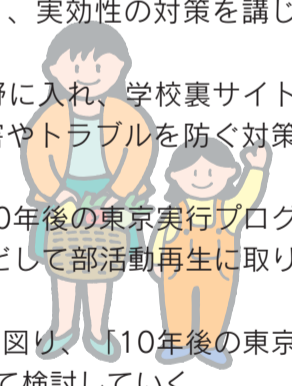
答弁 公平・中立の立場から相談に応じて解決に当たる、行政書士、司法書士、弁護士などの専門職を活用した支援策を検討していく。

質問 特定の個人への誹謗・中傷が掲載される学校裏サイトを的確に把握し抹消する仕組みを作り、実効性の対策を講じることが急務。

答弁 専門家の協力を得ることも視野に入れ、学校裏サイトの監視や内容把握など、具体的に被害やトラブルを防ぐ対策を検討していく。

質問 学校教育における部活動を「10年後の東京実行プログラム2009」にも明確に位置付けるなどして部活動再生に取り組むべき。

答弁 区市町村教育委員会とも連携を図り、「10年後の東京への実行プログラム」への反映も含めて検討していく。



環境対策

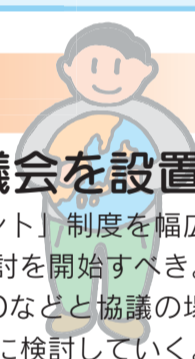
「エコポイント」導入へ協議会を設置

質問 大都市東京ならではの「エコポイント」制度を幅広く立ち上げ、その活用策について、具体的検討を開始すべき。

答弁 年度内を目途に、民間事業者、NPOなどと協議の場を設け、「エコポイント」の活用策を具体的に検討していく。

質問 公共交通機関としてのバス交通について、低燃費のハイブリッドバスの導入助成を積極的に行うべき。

答弁 オリンピック・パラリンピックの招致も見据え、路線バスを対象に、環境性能の良いハイブリッドバス導入に係る支援を緊急に実施していく。



新銀行東京

他の金融機関との業務提携など早急に

質問 金融庁の検査がはいり、貸倒引当金の積み増しが必要との情報も流れている。今回の第1四半期決算には、金融庁の検査結果が反映されているのか。

答弁 検査は現在も継続しているが、今回の第1四半期決算では、金融庁の検査の過程において、新銀行東京が計上すべきと判断したものは反映したと聞いている。

質問 仮に金融庁の検査結果を受けて、業績予想が下方修正されれば、新銀行東京の再建計画に対する信頼が揺らぐことになる。他の金融機関と業務提携していくなど、積極的な努力を行うべき。

答弁 他の金融機関との業務提携や都との連携といった新たな事業展開などにより、経営基盤を強化することが必要であり、都としても現在、全庁を挙げて新銀行東京との連携支援を検討している。

築地市場の移転問題

流通環境の変化など踏まえ、さらに検証を

新市場の規模(面積)をめぐって都議会公明党は、市場外取引の増加など流通環境の変化、情報化の進展、消費の質的・量的変化など市場を取り巻く今日の情勢を踏まえるべきと指摘。また、国の「卸売市場整備基本方針」では、立体的かつ効率的な施設配置を求めており、この視点に立てば、豊洲以外にも土壌汚染のない候補地は存在すると主張した。一方、土壌汚染対策の技術、工法を検証する「技術会議」について都議会公明党は、十分な検討期間を設け、食の安全・安心を確保すべきと訴えた。